

# 地方創生支援事業費補助金（地方と東京圏の大学生対流促進事業）の 補助対象事業の決定（平成30年度第1回）について

平成30年6月11日

平成30年11月8日改訂

内閣府地方創生推進室

地方創生支援事業費補助金（地方と東京圏の大学生対流促進事業）の補助対象事業について、以下のとおり決定した。

## 1. 趣旨

「まち・ひと・しごと創生総合戦略（2017改訂版）」にて、「地方大学と東京圏の大学の単位互換等により学生が地方圏と東京圏を相互に対流・交流する取り組みを促進する」することとされたことを受け、内閣府において「地方と東京圏の大学生対流促進事業」を実施し、事業に取り組む大学を補助金により支援する。

## 2. 採択事業

プロジェクトの実施基盤、目標、教育内容、学生への支援、協働体制の連携など事前に示している評価項目に則り、外部有識者の審査を経て、以下の5事業（事業内容は別紙）について採択を行った。

（50音順）

申請大学	協働大学
香川大学	芝浦工業大学
関東学院大学	沖縄大学
大正大学	静岡産業大学、島根大学
法政大学	沖縄大学、名桜大学
山梨県立大学	拓殖大学

## 採択事業の概要について

事業名	うまげなかがわ感じてみまい！うどん県住みます学生プロジェクト
責任大学名/連携大学名	香川大学 / 芝浦工業大学
交付決定額	30,000 千円
事業概要	香川大学創造工学部及び芝浦工業大学デザイン工学部は、「デザイン思考」「創造的なデザイン能力」の育成という点で共通する部分が多い。香川大学が課題とする「国際的な視野」の涵養を芝浦工業大学の「グローバルPBL」で補い、また芝浦工業大学が課題とする「自治体との連携」や「日本における地域課題の解決を目指した取り組み」については、香川大学の「インターンシップ科目」「瀬戸内地域活性化プロジェクト」や「産学協創工学」で補う。香川大学が実績を有する e-Learning や、「瀬戸内国際芸術祭」「東京オリンピック」などそれぞれの地域に特有のイベントも活用する。

事業名	沖縄創生まじゅんプロジェクト
責任大学名/連携大学名	関東学院大学 / 沖縄大学
交付決定額	15,793 千円
事業概要	①遠隔システムによる2大学同時開講科目、単発でも参加可能なプログラムの設置、副専攻制度等により参画学部の全学的な展開を可能とし、多様な学生の参加を促すことで沖縄志向を高めるとともに学生対流を促進する。②共生・共創という理念を同じくする2大学が地方公共団体や企業と連携し、観光資源発掘や地場産業体験型学修等の社会をフィールドとした独自プログラムを構築し、沖縄の魅力発信に寄与する。③地域の魅力に触れるだけでなく、沖縄式地域円卓会議等の場を通じて実際に政策提案を行うなど、講義形式にPBLを組み合わせたプログラムにより、地域が抱える課題解決に貢献できる地域リーダーを育成する。

事業名	フィールドから学ぶ産学官協働 3大学地域人材育成プロジェクト
責任大学名/連携大学名	大正大学 / 静岡産業大学、島根大学
交付決定額	35,800 千円
事業概要	本プロジェクトは、東京圏にある大正大学と地方に所在する静岡産業大学および島根大学とが協働し、学生を対流等させることで、産学官連携によるフィールドワークや単位互換を前提とする科目履修を行い、現在地域が抱えている諸問題の発見と課題解決に向けて、提案力の養成を行う。また、こうした事業を契機としてさらなる大学間ネットワークを構築・拡大していくことによって、学生の交流を深め、東京の学生が地方へ還流・定着し、地域創生をけん引する高度で知的な職業人として活躍する人材の輩出を目指す。

事業名	東京から沖縄へ、沖縄創生のための課題解決型人材育成プログラム
責任大学名/連携大学名	法政大学 / 沖縄大学 名桜大学
交付決定額	20,488 千円
事業概要	<p>沖縄を理解する上で、固有の文化・歴史を学ぶことは不可欠である。また、地域振興・持続可能な社会の構築のためには、産業構造や自然環境・災害の理解が重要である。本プロジェクトでは、東京圏と沖縄、沖縄の本島と離島の間を比較研究し、沖縄の抱える課題を考え関心を喚起することで、沖縄への人の流れを創出する。そのために、沖縄を理解・体験する PBL をベースに、3大学の幅広い学び、地域連携プログラム、「沖縄」「千代田区」をフィールドとした課題解決型フィールドワークを通じて、比較研究も取り入れつつ、沖縄の持続可能な社会の構築を実現する人材を育成する。加えて沖縄に若者が根付くことを目的としたインターンシップを実施する。</p>

事業名	「Mirai プロジェクト」を中心としたやまなしキャリアデザインの推進
責任大学名/連携大学名	山梨県立大学 / 拓殖大学
交付決定額	30,000 千円
事業概要	<p>「グローバルな知の拠点」を目指す山梨県立大学が、文部科学省「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」における「地域教養」及び「ツーリズムコース」の教育プログラムを活用し、「地域に根ざす大学」を目指す拓殖大学との協働により、長期は実践型授業科目「Mirai プロジェクト」、短期は「やまなし未来計画フォーラム」を中心とした地元企業などとの交流機会を提供する。</p> <p>また、国際協力、観光、農業及びデザインなどの専門的な教育プログラムを持つ拓殖大学は、山梨県立大学の学生により専門的な学びの機会を提供することにより、本学の実践教育の質の向上を図ることで、相互にメリットのある連携関係を構築する。</p>